



2020年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年11月8日

上場会社名 株式会社ダイヘン 上場取引所 東・福
 コード番号 6622 URL <https://www.daihen.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 田尻 哲也
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 小澤 茂夫 (TEL) 06-6390-5506
 四半期報告書提出予定日 2019年11月11日 配当支払開始予定日 2019年12月3日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第2四半期の連結業績(2019年4月1日~2019年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	65,349	△4.7	3,049	△10.1	3,258	△11.2	2,299	△11.0
2019年3月期第2四半期	68,545	1.7	3,393	△27.9	3,670	△26.6	2,583	△27.4

(注) 包括利益 2020年3月期第2四半期 2,057百万円(△60.3%) 2019年3月期第2四半期 1,283百万円(△68.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第2四半期	92.69	—
2019年3月期第2四半期	102.90	—

※当社は、2018年10月1日付で普通株式5株につき1株の割合で株式併合を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第2四半期	159,466	83,649	49.1
2019年3月期	167,575	82,703	46.2

(参考) 自己資本 2020年3月期第2四半期 78,286百万円 2019年3月期 77,358百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	8.00	—	40.00	—
2020年3月期	—	45.00	—	—	—
2020年3月期(予想)	—	—	—	40.00	85.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 2020年3月期中間配当金の内訳 記念配当 5円00銭 特別配当 1円1銭

※当社は、2018年10月1日付で普通株式5株につき1株の割合で株式併合を行っております。2019年3月期の1株当たり配当金につきましては、第2四半期末は株式併合前の金額、期末は株式併合後の金額を記載し、年間配当金合計は「—」として記載しております。

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日~2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	143,000	△0.3	8,500	1.6	8,800	0.9	6,200	0.6	249.96

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(注) 連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動には該当いたしません。第1四半期連結会計期間より、重要性が増したPT. OTC DAIHEN INDONESIA及びDAIHEN VARSTROJ welding cutting and robotics d.d. を連結の範囲に含めております。

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料8ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

- (4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期2Q	27,103,291株	2019年3月期	27,103,291株
② 期末自己株式数	2020年3月期2Q	2,295,857株	2019年3月期	2,299,661株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期2Q	24,805,377株	2019年3月期2Q	25,106,192株

※ 当社は、2018年10月1日付で普通株式5株につき1株の割合で株式併合を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、期中平均株式数を算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期のダイヘングループを取り巻く経営環境は、半導体関連投資の調整局面が続きましたため、売上高は653億4千9百万円（前年同期比4.7%減）となりました。利益面におきましても、売上高減少の影響により、営業利益は30億4千9百万円（前年同期比3億4千4百万円減）、経常利益は32億5千8百万円（前年同期比4億1千2百万円減）となり、親会社株主に帰属する四半期純利益につきましても、22億9千9百万円（前年同期比2億8千4百万円減）となりました。

セグメント別の状況につきましては、以下のとおりであります。

① 電力機器事業

エネルギーマネジメント関連分野でのビジネス拡大や電力会社向け電圧調整機器の需要増加などにより、売上高は297億1千2百万円（前年同期比6.3%増）となり、営業利益は19億3千5百万円（前年同期比12億5百万円増）となりました。

② 溶接メカトロ事業

米中貿易摩擦による中国市場減速の影響は依然厳しい状況が続いておりますが、日本国内及び欧米での自動車関連顧客への販売が堅調に推移いたしましたことから、売上高は218億9千9百万円（前年同期比0.8%増）、営業利益は20億7千2百万円（前年同期比2億3千9百万円増）となりました。

③ 半導体関連機器事業

半導体メモリーの在庫調整は進んでおりますが、当第2四半期において半導体製造装置の投資は回復には至らず、売上高は136億4千5百万円（前年同期比27.4%減）となり、営業利益は12億9千4百万円（前年同期比14億7千7百万円減）となりました。

④ その他

売上高は9千9百万円、営業利益は2千5百万円で、前年同期からの大きな変動はありません。

(参考) セグメント別の状況

(単位：百万円)

セグメントの名称	受注高		売上高		営業利益	
	金額	増減率	金額	増減率	金額	増減率
電力機器事業	33,904	△0.3%	29,712	+6.3%	1,935	+165.1%
溶接メカトロ事業	21,749	△2.2%	21,899	+0.8%	2,072	+13.1%
半導体関連機器事業	13,755	△0.2%	13,645	△27.4%	1,294	△53.3%
その他	99	△0.5%	99	△0.5%	25	△37.7%

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期末の資産合計は、主に受取手形及び売掛金の減少により1,594億6千6百万円（前年度末比81億8百万円減）となりました。

負債合計は、支払手形及び買掛金や借入金などの減少により758億1千7百万円（前年度末比90億5千4百万円減）となりました。

純資産合計は、為替換算調整勘定が減少する一方、利益剰余金の増加により836億4千9百万円（前年度末比9億4千5百万円増）となりました。なお、自己資本比率は前年度末の46.2%から2.9ポイント上昇して49.1%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想につきましては、前回公表値（2019年5月10日公表）を修正しておりません。今後、業績予想の修正が必要となった場合には、速やかに公表させていただきます。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	12,602	11,074
受取手形及び売掛金	37,761	30,185
商品及び製品	17,329	17,908
仕掛品	10,581	12,289
原材料及び貯蔵品	18,440	18,759
その他	3,583	2,680
貸倒引当金	△51	△47
流動資産合計	100,247	92,850
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	20,105	20,100
機械装置及び運搬具(純額)	7,396	7,219
工具、器具及び備品(純額)	2,038	2,064
土地	8,653	8,757
リース資産(純額)	530	546
建設仮勘定	2,425	2,322
有形固定資産合計	41,149	41,011
無形固定資産		
ソフトウェア	1,865	1,796
リース資産	63	59
その他	274	264
無形固定資産合計	2,203	2,121
投資その他の資産		
投資有価証券	15,393	14,746
出資金	239	237
長期貸付金	0	0
長期前払費用	180	230
退職給付に係る資産	6,687	6,811
繰延税金資産	981	940
その他	581	599
貸倒引当金	△90	△81
投資その他の資産合計	23,974	23,483
固定資産合計	67,327	66,616
資産合計	167,575	159,466

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	28,070	24,639
短期借入金	14,813	8,497
1年内返済予定の長期借入金	4,433	3,906
リース債務	190	196
未払法人税等	1,217	914
賞与引当金	2,376	2,443
役員賞与引当金	74	16
工事損失引当金	76	0
その他	7,327	6,111
流動負債合計	58,579	46,726
固定負債		
長期借入金	20,538	23,096
リース債務	354	363
繰延税金負債	1,637	1,699
役員退職慰労引当金	38	45
耐震工事関連費用引当金	719	716
製品安全対策引当金	29	26
退職給付に係る負債	1,764	1,909
資産除去債務	74	74
その他	1,135	1,160
固定負債合計	26,292	29,091
負債合計	84,871	75,817
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,596	10,596
資本剰余金	10,009	10,016
利益剰余金	55,062	56,374
自己株式	△3,861	△3,856
株主資本合計	71,807	73,131
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,657	3,724
繰延ヘッジ損益	0	△3
為替換算調整勘定	1,644	1,189
退職給付に係る調整累計額	248	244
その他の包括利益累計額合計	5,551	5,155
非支配株主持分	5,345	5,362
純資産合計	82,703	83,649
負債純資産合計	167,575	159,466

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
売上高	68,545	65,349
売上原価	47,389	44,710
売上総利益	21,155	20,638
販売費及び一般管理費	17,762	17,589
営業利益	3,393	3,049
営業外収益		
受取利息及び配当金	187	203
持分法による投資利益	12	107
為替差益	22	—
その他	424	342
営業外収益合計	647	653
営業外費用		
支払利息	92	142
為替差損	—	97
売上割引	84	77
その他	194	126
営業外費用合計	370	444
経常利益	3,670	3,258
特別利益		
固定資産売却益	—	73
特別利益合計	—	73
税金等調整前四半期純利益	3,670	3,331
法人税等	1,170	994
四半期純利益	2,500	2,337
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△82	37
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,583	2,299

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
四半期純利益	2,500	2,337
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△315	123
繰延ヘッジ損益	4	△3
為替換算調整勘定	△891	△340
退職給付に係る調整額	△35	△3
持分法適用会社に対する持分相当額	21	△55
その他の包括利益合計	△1,217	△280
四半期包括利益	1,283	2,057
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,364	2,022
非支配株主に係る四半期包括利益	△81	34

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	3,670	3,331
減価償却費	2,617	2,729
のれん償却額	1	—
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△2	△17
賞与引当金の増減額(△は減少)	△804	71
耐震工事関連費用引当金の増減額(△は減少)	△42	△3
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	16	121
退職給付に係る資産の増減額(△は増加)	△258	△155
受取利息及び受取配当金	△187	△203
支払利息	92	142
持分法による投資損益(△は益)	△12	△107
固定資産売却損益(△は益)	—	△73
売上債権の増減額(△は増加)	9,251	8,025
たな卸資産の増減額(△は増加)	△7,789	△2,034
仕入債務の増減額(△は減少)	△2,087	△3,820
その他	147	△320
小計	4,613	7,683
利息及び配当金の受取額	189	204
利息の支払額	△91	△146
法人税等の支払額	△1,641	△1,270
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,069	6,472
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の払戻による収入	296	—
有形固定資産の取得による支出	△4,700	△2,153
有形固定資産の売却による収入	28	259
無形固定資産の取得による支出	△272	△229
その他	200	△37
投資活動によるキャッシュ・フロー	△4,448	△2,161
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△4,014	△7,045
長期借入れによる収入	5,000	5,000
長期借入金の返済による支出	△1,919	△2,969
自己株式の取得による支出	△4	△2
配当金の支払額	△942	△993
その他	△116	△116
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,997	△6,127
現金及び現金同等物に係る換算差額	△313	△136
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△3,689	△1,953
現金及び現金同等物の期首残高	13,671	12,403
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	—	437
現金及び現金同等物の四半期末残高	9,981	10,887

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

・税金費用の計算

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、税引前四半期純利益に一時差異等に該当しない重要な差異を加減した上で、法定実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	電力機器 事業	溶接メカトロ 事業	半導体関連 機器事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	27,957	21,698	18,788	68,445	99	68,545
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1	17	—	19	—	19
計	27,959	21,716	18,788	68,465	99	68,565
セグメント利益	730	1,832	2,771	5,334	40	5,374

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸事業等を含んでおりません。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	5,334
「その他」の区分の利益	40
セグメント間取引消去	0
全社費用 (注)	△1,981
四半期連結損益計算書の営業利益	3,393

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	電力機器 事業	溶接メカトロ 事業	半導体関連 機器事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	29,712	21,892	13,645	65,250	99	65,349
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	6	—	6	—	6
計	29,712	21,899	13,645	65,257	99	65,356
セグメント利益	1,935	2,072	1,294	5,301	25	5,326

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	5,301
「その他」の区分の利益	25
セグメント間取引消去	0
全社費用(注)	△2,277
四半期連結損益計算書の営業利益	3,049

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。